平成27年11月期 中間決算短信（平成26年11月15日～平成27年5月14日）

平成27年6月12日
上場取引所 東証

ファンド名 国際のETF VIX中期先物指数
コード番号 1561
連動対象指数 円換算したS&P500 VIX中期先物指数
主要投資資産 指数連動有価証券
売買単位 1口
管理会社 国際投信投資顧問株式会社 URL <http://www.kokusai-am.co.jp>
代表者名 取締役社長 田中 裕之
問合せ先責任者 デイスクロージャー部長 永田 英二 TEL (03) 5221-6110

半期報告書提出予定日 平成27年8月10日

I ファンドの運用状況

1. 平成27年5月中間期の運用状況（平成26年11月15日～平成27年5月14日）

(1) 資産内訳 (百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成27年5月中間期	301	(99.5)	1	(0.5)	302	(100.0)
平成26年11月期	280	(99.3)	1	(0.7)	282	(100.0)

(2) 設定・解約実績 (千口未満切捨て)

	前計算期間末 発行済口数 (①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当中間計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
平成27年5月中間期	7	1	-	8

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1口当たり基準価額 (③/当中間計算期間末(前計算期間末) 発行済口数)×1)
	百万円	百万円	百万円	円
平成27年5月中間期	303	0	302	34,032
平成26年11月期	283	0	282	35,807

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 有 無
- ② ①以外の会計方針の変更 有 無

II 中間財務諸表等

国際のETF VIX中期先物指数

(1) 【中間貸借対照表】

	第3期計算期間末 (平成26年11月14日現在)	第4期中間計算期間末 (平成27年5月14日現在)
	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
預金	102,748	707,121
コール・ローン	2,362,851	1,289,191
社債券	280,890,465	301,421,588
未収利息	1	1
その他未収収益	-	61,050
流動資産合計	283,356,065	303,478,951
資産合計	283,356,065	303,478,951
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬	66,056	82,088
未払委託者報酬	409,457	508,911
その他未払費用	5,223	6,508
流動負債合計	480,736	597,507
負債合計	480,736	597,507
純資産の部		
元本等		
元本	1,034,931,600	1,165,935,600
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金(△)	△752,056,271	△863,054,156
元本等合計	282,875,329	302,881,444
純資産合計	282,875,329	302,881,444
負債純資産合計	283,356,065	303,478,951

(2)【中間損益及び剰余金計算書】

	第3期中間計算期間	第4期中間計算期間
	自平成25年11月15日 至平成26年5月14日	自平成26年11月15日 至平成27年5月14日
	金額(円)	金額(円)
営業収益		
受取利息	493	429
有価証券売買等損益	△61,249,680	△22,987,683
為替差損益	8,668,804	7,418,636
その他収益	47,570	61,050
営業収益合計	△52,532,813	△15,507,568
営業費用		
受託者報酬	66,735	82,088
委託者報酬	413,725	508,911
その他費用	105,662	139,318
営業費用合計	586,122	730,317
営業利益又は営業損失(△)	△53,118,935	△16,237,885
経常利益又は経常損失(△)	△53,118,935	△16,237,885
中間純利益又は中間純損失(△)	△53,118,935	△16,237,885
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額(△)	-	-
期首剰余金又は期首欠損金(△)	△600,094,729	△752,056,271
剰余金増加額又は欠損金減少額	89,672,000	-
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	89,672,000	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	-	94,760,000
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	94,760,000
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金(△)	△563,541,664	△863,054,156

(3)【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	第4期中間計算期間 自平成26年11月15日 至平成27年5月14日
1. 運用資産の評価基準及び評価方法	社債券 原則として時価で評価しております。 時価評価に当っては、価格情報会社の提供する価額等で評価しております。
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
3. 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益及び為替予約取引による為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。

(中間貸借対照表に関する注記)

第3期計算期間末 (平成26年11月14日現在)	第4期中間計算期間末 (平成27年5月14日現在)
1. 計算期間の末日における受益権の総数 7,900口	1. 中間計算期間の末日における受益権の総数 8,900口
2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 752,056,271円	2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 863,054,156円
3. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たりの純資産額 35,807円	3. 中間計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たりの純資産額 34,032円

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

第3期計算期間末 (平成26年11月14日現在)	第4期中間計算期間末 (平成27年5月14日現在)
(1)貸借対照表計上額、時価及びその差額 貸借対照表上の金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	(1)中間貸借対照表計上額、時価及びその差額 中間貸借対照表上の金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
(2)時価の算定方法 有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。	(2)時価の算定方法 有価証券 同左
コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 同左
(3)金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	(3)金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 同左

(デリバティブ取引に関する注記)

該当事項はありません。

(元本の増減)

第3期計算期間末 (平成26年11月14日現在)		第4期中間計算期間末 (平成27年5月14日現在)	
期首元本額	903,927,600円	期首元本額	1,034,931,600円
期中追加設定元本額	262,008,000円	期中追加設定元本額	131,004,000円
期中一部解約元本額	131,004,000円	期中一部解約元本額	—円